

しりとりパズル

クオカードが当たる？
クイズコーナー

やってみよう
解いてみよう

たんきゅう ぎかい探Q

28

スタート

ぎ	1	7	15	5	12	4	3	10	20
7	18	17	14	7	19	8	3	16	5
さ	16	12	9	7	9	5	16	10	ね
17	13	6	8	3	に	5	10	20	5
り	が	み	17	1	7	20	14	6	
12	1	17	19	5	7	7	の	5	10
11	7	8	び	18	7	5	3	15	20
8	1	12	8	は	5	1	え	7	5
6	2	5	16	5	18	7	5	7	6
5	3	11	5	ぱ	17	7	1	16	8
そ	8	12	5	7	7	て	17	18	3
13	10	16	13	1	3	4	ち	17	7

ゴール

ルール

- ・左上の「スタート」から右回りに、下記の「語群」の用語を使って、ひらがなで1マスに1字ずつ入れます。ただし、オレンジ色のマスの文字はしりとりにつながっています（前後の単語の両方で使えます）。
- ・同じ番号のマスには同じひらがなが入ります。
- ・「語群」の言葉は全て1回ずつ使います。
- ・小さい「つ」などは大きい「つ」などと同じ文字として扱います。
- ・しりとりをしながら中央の「ゴール」を目指してください。
- ・「整理表」の黄緑色のマスの文字を抜き出して並び替えてできる言葉が答えです。

語群

【議会用語等】
ぎかい探Q、満場一致、中核市、除斥、起立採決、代表者、団体意思決定、委員協議会、学識経験者、延会、一般選挙、常任委員会、意見書、予備費、秘密会、委員派遣

【枚方市の地名等】
宇山、万年寺山、釈尊寺、津田、山田、伊加賀、山之上、四辻

整理表

1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18
19	20				

応募方法 市議会ホームページに掲載の応募フォーム（右コード）または、はがき、電子メール、ファクスに、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、クイズの答え、議会報の感想を書いて議会局（〒573-8666住所不要）へ。8月25日必着。1人1通。抽せんで10人にクオカード（500円分）をプレゼント！当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

6/12

2つの外郭団体の 8年度事業計画を聴取

土地開発公社
スポーツ協会

報告の概要①事業計画
②予算総額は次のとおりです。
■枚方市土地開発公社：
①公有用地約1万1000平方メートルを16億7540万円取得し、約799平方メートルを5億5992万円売却する。②収益的・資本的収支を合わせると、1万円未満四捨五入

8年度

一般会計補正予算（第3号）及び 介護保険特別会計補正予算（第2号）を可決

8年度一般会計補正予算（第3号）は、歳入歳出それぞれ2762万円を増減するものです。
歳入の主な補正内容は、財政調整基金繰入金1452万円、障害者自立支援給付支払等システム事業補助金740万円の増額などです。
また、8年度介護保険特別会計補正予算（第2号）は、介護報酬改定に伴うシステム改修を行う経費（障害福祉サービス）の処遇改善加算等に伴うシステム改修委託）：1480万円
介護保険システム運用経費（生活扶助基準の特例加算額引上げに伴うシステムの改修委託）：600万円
また、8年度介護保険特別会計補正予算（第2号）は、介護報酬改定に伴うシステム改修を行う経費（障害福祉サービス）の処遇改善加算等に伴うシステム改修委託）：1480万円
介護保険システム運用経費（生活扶助基準の特例加算額引上げに伴うシステムの改修委託）：600万円
また、8年度介護保険特別会計補正予算（第2号）は、介護報酬改定に伴うシステム改修を行う経費（障害福祉サービス）の処遇改善加算等に伴うシステム改修委託）：1480万円
介護保険システム運用経費（生活扶助基準の特例加算額引上げに伴うシステムの改修委託）：600万円

編集後記

暑さの厳しい日が続きますが、皆さんはいかがお過ごしでしょうか。今号は、6月定例会議の内容を中心に掲載しました。一般質問の内容を2・3面に掲載していますが、今回新たに議員の一般質問への熱い思いを、市議会キャリアクター「いりあ」が直撃インタビューしています。

**本会議（議案審議）の
大まかな流れ**

議長がこの流れで本会議を進行しています

スタート

開議宣告
議会期間の宣告
議題宣告
提案理由説明
市長などから議案の説明を受けます

委員会付託
詳しく審査したい議案は各委員会に審査されます
※枚方市議会では本会議中の議案運営のため委員会での審査は少ない

委員会審査
討論
採決

委員長報告
討論
採決

質疑
質疑
討論
採決

散会宣告
お疲れさまでした

語群に出てきた議会用語の一部を解説！

除斥
議題となった案件に直接の利害関係のある議員は審議に参加できない制度。

起立採決
議会の意思決定（議決）を行う基本的な方法。議長が案件に賛成の議員に起立を求め、賛成の議員が起立することによって議決が行われる。

委員協議会
枚方市議会において、4つの常任委員会単位で自主的な調査等に取り組む法定外の機関。

一般選挙
議員定数全員について行う選挙。枚方市議会議員は、4年ごとの統一地方選挙で全員が改選されている。

常任委員会
専門的な審査、調査を行うため議会に設置される法定の委員会。本市議会では4常任委員会（総務、教育子育て、市民福祉、建設環境）が設置され、議員は必ず1つの常任委員会に所属している。

意見書
市の公益に関する事項について議決し、国会または関係省庁等に提出するもの。

委員派遣
先進都市への視察研修など、委員会の委員が公務で出張する制度。

**ど
よ
う
し
の**

ぎかい探Q 27 答え

毎回季節に合わせた台紙でクオカードをお届け！

委員協議会

だより

議会は、休会中も、常任委員会の所管区分ごとに構成されている委員協議会を開催して市側の説明を受け、市政に関する自主的な調査、研究を行っています。委員協議会は、定例会議の前に開催されるのが通例ですが、緊急に開催されることもあります。

総務委員協議会 5月29日

委員長…長友克由 副委員長…志甫直哉
委員…堤 幸子、大津真沙樹、妹尾正信、鍛冶谷知宏、千葉雅民、大地正広

(1) 次期総合計画の策定に向けた取組について
(2) 枚方市公共施設マネジメント推進計画等の改訂について

教育子育て委員協議会 6月1日

委員長…泉 大介 副委員長…峠 賢一
委員…広瀬ひとみ、野村生代、前田富枝、大濱暢祐、小池晶子、丹生真人

(1) 「(仮称) 子ども未来館」開設に向けた進捗について
(2) 旧中宮北小学校プールの跡地活用について
(3) 第5次枚方市子ども読書活動推進計画について
(4) 「枚方市立小中学校における働き方改革推進プラン」の策定について

市民福祉委員協議会 6月2日

委員長…番匠映仁 副委員長…三和智之
委員…田口敬規、漆原周義、門川紘幸、佐田あゆ美、一原明美、田中優子

(1) 市立デイサービスセンターのあり方検討に係る現状と今後の方向性について
(2) 福祉バスのあり方検討に係る現状と今後の方向性について
(3) 生活保護受給者等就労支援事業及び生活困窮者等就労準備支援事業の今後の展開について
(4) 住宅宿泊事業に係る規制について
(5) 令和8年度の高齢者インフルエンザ予防接種について

建設環境委員協議会 6月3日

委員長…奥野美佳 副委員長…松本佑介
委員…松岡ひろ、八尾善之、高野寿隆、岡市栄次郎、東 実名子、藤田幸久

(1) 枚方市都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の改定について
(2) 招提東町地区地区計画の決定について
(3) 枚方市住宅・建築物耐震改修促進計画（第Ⅲ期）の策定について
(4) 路線バス廃止予定路線への代替交通の導入について
(5) 雨水ポンプ場の耐震化について

可決した意見書（要旨）

意見書とは、市の公益（市民の日常生活に関わる公共の利益等）に関する事項について、議会の意思として議決し、国会または関係行政機関に提出するものです。

全てのケアラーに対する包括的な支援と法的枠組みの整備を求める意見書

政府は、全てのケアラーが個人の尊厳を保持し、社会から孤立することなく、安心して生活し、就労や学びなど社会参加を継続できるように、左記の措置を速やかに講じるよう強く求めます。

- ヤングケアラーに限らず、全てのケアラーを対象とした包括的な支援の基本理念を明確にすること。
- ケアラーを支援するための実態把握、相談支援、情報提供、休息の確保等について、分野横断的に取り組む法的枠組みを整備すること。
- 地方公共団体が地域の実情に応じた支援を安定的に実施できるよう、必要な財政措置を講じること。
- ケアラー支援に関する国民の理解を深めるための普及、啓発を推進すること。

〔提出先〕 内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、内閣府特命担当大臣（こども政策）
大臣（こども政策）

住まいの安定と居住支援の抜本的強化を求める意見書

政府は、誰もが安心して住み続けられる社会の実現に向け、左記の措置を講じるよう強く求めます。

- 低所得者や子育て世帯を対象とした新たな住宅手当制度を創設すること。あわせて、既存の家賃補助制度の対象拡大と補助額の引上げを図ること。
- 居住支援法人等の活動を支援し、高齢者や子育て世帯等への居住サポート住宅の整備や、孤独死への不安を解消するガイドラインの周知を推進すること。
- 高齢者の健康管理や遠隔見守りサービスの普及に向け、IoT技術等を活用した次世代住宅の実用化を推進するとともに、高齢者に備えた相談体制を整備すること。
- UR賃貸住宅や公営住宅の空き戸をNPO法人等に定期借家、低家賃で貸し出す仕組みを全国に広げ、子育て世帯等への家賃減額や所得要件の緩和を行うこと。
- 生活保護の住宅扶助基準額を現行の家賃相場に見合う水準へ引き上げるとともに、地域差を踏まえた柔軟な基準設定を可能とすること。

〔提出先〕 内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、国土交通大臣